



第2部のパネリストと研修前の打合せの様子。
リラックスして談笑中。



第1部のいがた県政出前講座の講師である
小河原 太郎様からご講演いただきました。



研修受付の様子。福祉サービス関係事業所以外にも、一般の
方や民生委員・児童委員と多くの方にご参加いただきました。

令和5年度 村上・岩船地域自立支援協議会 障がいへの理解啓発研修会

9/10（日）村上市教育情報センター（視聴覚ホール）で実施した障がいの理解啓発研修会において、第1部はにいがた県政出前講座を活用し、「障がいを理由とした差別の解消とヘルプマークについて」の講演を、また第2部では、「共生社会」の実現に向けて個々人ができることを考えてもらえるよう障がい当事者や家族会、事業者に登壇いただき「お互いを認め合うために」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



第2部のパネルディスカッション会場の様子。村上市障がい者基幹相談支援センターの田巻センター長の進行のもと、パネリスト5名がさまざまな視点で「共生社会」の実現に向けて個々人ができることを考える機会となりました。



研修アンケートには、第1部～「合理的配慮の正しい理解の必要性を感じた。」や、ヘルプマークについて、「初めて知った。」「周知啓発が必要。」等々、第2部～「いろいろな立場にある方から生の声を聞くことができてよかった。」「お互い様であり認め合うことの大切さを感じた。」「みつばの存在を初めて知った、広報すべき。」といった意見も。また自由記載欄には、「様々な立場から障がいによって生じた差別、伝えたいことが違い改めて考えさせられることが多かった。障がいの有無や立場に関わらず思いやることの大切さを実感した。」との感想が寄せられていました。

.....人権や差別問題に通じる障がいへの理解、啓発を進める上で、定期的に繰り返す取組みを継続していきたいと思います。